

「名古屋市歴史的風致維持向上計画(案)」に対する

市民意見の内容及び市の考え方

「名古屋市歴史的風致維持向上計画(案)」に対し、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

皆さまからいただきましたご意見の概要と、それに対する市の考え方を公表いたします。

なお、ご意見については内容を要約し、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、内容により分割するなどして掲載していますので、ご了承ください。

- 1 実施期間 平成 25 年 9 月 26 日 (木) ～10 月 25 日 (金)
- 2 提出状況 提出者数：21 人、市民意見数：50 件
- 3 提出方法 郵送 3 人、ファックス 6 人、電子メール 6 人、持参 6 人
- 4 市民意見の内訳

- (1) 歴史的風致維持向上計画全般について (13 件)
- (2) 歴史的風致について (10 件)
- (3) 歴史的風致の維持及び向上に関する方針について (6 件)
- (4) 歴史的風致の維持及び向上に関する事業・取組みについて (20 件)
- (5) その他 (1 件)

平成 26 年 2 月

名古屋市

①名古屋市歴史的風致維持向上計画全般について（13件）

ア 歴史まちづくりの進め方について（7件）

意見番号	市民意見	市の考え方
1-1	中央リニアが開通するまでを、歴史・文化の面でも、名古屋をブラッシュアップしていく期間にしてはどうか。	平成 39 年のリニア中央新幹線の開業に向けて、名古屋独自の歴史・文化を活かした都市の魅力向上が、今後ますます重要になってくると考えています。名古屋市歴史的風致維持向上計画の認定を契機に、歴史まちづくりの一層の推進を図っていきます。
1-2	名古屋の歴史の特徴をまちづくりに活かすための、基本的な考えを行政が示すことは重要だ。積極的な推進を望む。	名古屋の歴史的資源を、「伝統的な人々の営み」と「歴史的建造物」から成る「歴史的風致」として捉え、ハード・ソフトの両面から歴史的風致の維持向上を図っていくことで、名古屋の歴史的特徴に根ざしたまちづくりを進めていくことができると考えています。
1-3	名古屋、尾張、県全体を歴史的視野から眺めることは、地域のアイデンティティを主張する上でも重要だと思う。 名古屋の観光地が①名古屋城 ②東山動植物園 ③熱田神宮・大須観音として、有名なのはその現代的な価値だけでなく、歴史的意義もそなわっていることである。歴史的風致の大切な意義はそこにあると思う。	
1-4	場所とそこに住まう人、その営みまでを含めて風致と捉え、地域の資源として人と人、人と街を近づけ結びつけ、歴史や伝統のうえに新たな交流を生みコミュニティを育む。風致を地域社会の再生や活性化に役立ててほしい。	
1-5	名古屋を京都、金沢、高山などと並ぶ歴史都市として位置付ける為の推進計画とするには、現状では全国的には名古屋の知名度は「ゼロ」に等しい。	
1-6	「歴史まちづくり」とするには「尾張」として考えなければならないのではないか。その為には各区などという小さな単位ではなく「名古屋市」としての大案を練るのが先決ではないだろうか。	名古屋市の歴史まちづくりに関する基本方針として、平成 23 年 3 月に「名古屋市歴史まちづくり戦略」を策定しており、その中で、周辺市町村・広域連携の推進についても取り組んでいくことを打ち出しています。 今後は、「名古屋市歴史的風致維持向
1-7	名古屋市は、名古屋の個性と魅力を活かしたまちづくりとして、文化財の保護、歴史的町並み保存事業、文化のみちの推進、さまざまな歴史まちづくりの取り組みを、市民とともに	

	<p>ている。また、都市計画マスタープラン、景観計画、文化振興計画、観光戦略ビジョンなど名古屋の歴史的風致の維持及び向上に関わりのある計画も実施してきているが、それらを総括し今回の風致維持向上計画へ記載すべきだ。今まで行ってきたことを評価して次に進むべきと考える。</p>	<p>上計画」と「名古屋市歴史まちづくり戦略」を両輪として歴史まちづくりを進めていきます。</p>
--	--	---

イ 名古屋市歴史的風致維持向上計画の構成・記述について（4件）

意見番号	市民意見	市の考え方
1-8	<p>1章、2章は過去の事をまとめた資料なので、今回の「名古屋市歴史的風致維持向上計画」のメインではない。今回の計画の主眼はあくまでも、「3章 歴史的風致の維持及び向上に関する方針」だと考える。ついては、3章を1章の前にした構成の方がよいと思う。</p>	<p>「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」（3章）を示す前に、「名古屋市の維持向上すべき歴史的風致」（2章）が何であるかを示す必要があるため、現在の構成となっています。名古屋市の場合、歴史的風致とその背景となる要素が多岐にわたっているため、1章、2章の記述が特に多くなっています。名古屋の歴史を知るための参考資料としても、お読みいただければ幸いです。</p>
1-9	<p>風致維持向上計画のスケジュールがないので、何時までに何を達成するかが見えない。</p>	<p>名古屋市歴史的風致維持向上計画の期間は、平成26年度～平成35年度の10年間としています。個々の事業の期間については、6章（P239～284）にお示しした事業シートに記載しています。</p>
1-10	<p>当事者、地域住民、市民、行政、専門家等の役割分担が明確になっていない。</p>	<p>名古屋市歴史的風致維持向上計画の推進にあたっては、専門家の意見を取り入れ、国や県などの行政機関と調整をはかるとともに、各事業の実施にあたっては、市民の皆さまと連携を図りながら進めていきます。</p>
1-11	<p>今回の計画を受けて実際の行動計画を立案すると思うが、そのことが計画に記載されていない。</p>	<p>各事業の実施計画については、名古屋市歴史的風致維持向上計画の中に記載していませんが、事業の進捗状況については、歴史まちづくり推進室で取りまとめを行いながら、計画全体を推進していきます。</p>

ウ 名古屋市歴史的風致維持向上計画協議会について（1件）

意見番号	市民意見	市の考え方
1-12	名古屋歴史的風致維持向上計画協議会について、3回開催された会議録を公表すべきだ。会長と委員の先生方の専門分野等のプロフィールを教えてほしい。	名古屋市歴史的風致維持向上計画協議会については、市公式ウェブサイトでの情報提供を充実させていきます。

エ パブリックコメントについて（1件）

意見番号	市民意見	市の考え方
1-13	今回の計画におけるパブリックコメントの位置付けを教えてほしい。パブリックコメントに対するフィードバックは何時あるのか。	パブリックコメントは、計画の作成段階で、内容の充実を図るために行っています。 期間中にいただいたご意見及び市の考え方を市公式ウェブサイトにて公表します。

②歴史的風致について（10件）

ア 歴史的風致全般に関するご意見（3件）

意見番号	市民意見	市の考え方
2-1	第2章で100頁を超えて、記載されている名古屋の歴史的風致は、名古屋市民の誇りの源泉と言えるものであり、正確、丁寧な案作成に敬意を表する。	名古屋の歴史的風致については、多くの市民の皆さまに知っていただき、歴史まちづくりへのご理解を深めていただけるよう、効果的な情報発信に努めていきます。
2-2	歴史的風致を取りまとめる過程で得られた資料、写真等を中心に、ビジュアルで一般市民にも親しみやすい冊子や四季を通じた歴史的風致の映像の作成、歴史的風致に関わる人の講演会の実施等々、継続的に名古屋の歴史的風致の情報発信、PRを期待する。	
2-3	歴史まちづくり法では、歴史的風致を「地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境」と定義している。「反映した人々の活動」、「一体となって形成してきた良好な市街地の環境」とは有松においては、どのようなことか。示して頂きたい。	有松は、東海道沿いに歴史的な町並みが残されており、町並みを背景に山車の曳き出される祭りや、伝統産業の絞りが歴史的な風情を感じさせてくれる地域であるという記述を2章に記載しています。

イ 歴史的風致の記述に関するご意見（7件）

意見番号	市民意見	市の考え方
2-4	<p>山崎川は、各時代の人々の営みに大きな影響を与え続けている川だと思われるので、川とその周辺地域を歴史的風致の視点で捉え直すと興味深い歴史が描き出され、現代の私たちの生活にも潤いを与えてくれるものと確信している。</p>	<p>1章の「自然的環境」(P5～6)に、山崎川と各時代の人々の営みの記述を追記します。</p>
2-5	<p>大都市としての発展過程と題して、近代化遺産、とくに戦後期の広幅員街路を要素としてあげていることは非常に先進的で興味深い。</p> <p>この際、それらに加えて名古屋市の近代化遺産群、とりわけ近代都市計画の先進地としての名古屋市を象徴するような、例えば戦前の石川栄耀による都市基盤整備や、それに引き続く戦後復興の遺産群も名古屋市における重要な歴史的風致として位置づけるべきだ。</p> <p>具体的には、中川運河、大須商店街、東山動植物園、名古屋港、東部丘陵の区画整理地などが挙げられる。</p>	<p>2章の「近代都市としての発展過程に見られる歴史的風致」(P144)に中川運河の記述を追記します。</p> <p>石川栄耀による土地区画整理事業については、1章の「歴史的環境」(P28)に記述しています。</p> <p>戦災復興の都市基盤整備については2章の「戦災復興に見られる歴史的風致」(P161～169)に記述しています。</p>
2-6	<p>名古屋の歴史を縄文時代から近代までの時間軸で把握すると、計画書に記載されている現況把握の内容には大きな偏りがあると感じる。特に西部方面の洪積地の埋め立て（農地化）などによる街道や集落の形成と寺社の建立の現況把握が少ないので、きちんと時間軸を押さえたうえで、歴史的風致として定義されている「人々の活動」と「歴史的価値の高い建造物・・・」を、街道（鎌倉街道）、宿場（東宿等）、集落、寺社や碑についても記載してほしい（教育委員会の標札資料を参考に）。</p>	<p>1章の「歴史的環境」(P18)に「鎌倉街道の宿」の記述を追記します。</p>
2-7	<p>西部方面や緑区方面には戦国武将のゆかりの寺社なども多いので、江戸以前の記載を充実してほしい。</p>	<p>戦国武将に関しては、1章の「歴史的環境」(P19・20)に図とコラムで記載しています。</p>
2-8	<p>「文化のみち」は近代のことだが、「戦国武将のみち」は天下統一を夢見た武将の故郷である。秀吉、清正、利家、おね・・・これらの歴史的な人物を「名古屋市歴史的風致維持向上計画」に含めていないのは片手落ちだ。</p>	<p>江戸時代以前の歴史については、各時代においてポイントになる事柄に絞って記述しています。</p>

2-9	中川区では江戸時代に活躍した「円空」の評価も高いので計画に位置付けてほしい。	2章の「尾張四観音などに見られる歴史的風致」(P135)の荒子観音の説明のなかで、円空仏について追記します。
2-10	建物中心ではなく人々の活動に注目してほしい。	歴史的風致は、人々の活動を含んだ概念ですので、2章の「名古屋市の維持向上すべき歴史的風致」(P52～169)では、できる限り人々の活動についても記述しています。

③歴史的風致の維持及び向上に関する方針について（6件）

ア 方針についてのご意見（5件）

意見番号	市民意見	市の考え方
3-1	近代以降の歴史的風致は未だ価値が定まっておらずこれから取り壊しの段階に入るものも多い。そうした点をふまえても、早めに行政の中での維持向上の方針が必要なものとする。	3章の「歴史的風致の維持及び向上に関する課題」(P170)、「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」(P185)に近代以降の歴史的建造物に関する課題と方針を追記します。
3-2	3章に、「1 歴史的風致の維持及び向上に関する課題」が記載されているのは判りやすい。	これらの課題を改善するための施策を推進していきたいと考えております。
3-3	3章の「2 各種計画との関連性」では、「名古屋の歴史的風致の維持及び向上に関わりのある計画との整合をとりつつ、連携しながら名古屋市固有の歴史的風致の維持及び向上を図るものとする。」とあるが、どのように整合を取り、連携するかが具体的にない。	名古屋市歴史的風致維持向上計画と関連する各種計画の関係は175ページに概念図を掲載しています。関連する各種計画に位置づけられた事業のいくつかは、名古屋市歴史的風致維持向上計画においても掲載しており、双方の目的を達成するための事業として連携して取り組んでいきます。
3-4	3章の「3 歴史的風致の維持及び向上に関する方針」において、「啓発を行っていく。」「積極的に取り組んでいく。」「検討していく。」「意識の向上を図る。」「経済的支援も行っていく。」などと記載されているが、どのように成し遂げることが記載されていない。	方針を具体的に進める事業については、6章(P239～286)に掲載しております。また、事業化されていない方針については、順次、事業化を検討していきます。
3-5	188頁の「歴史まちづくりを進めるネットワークのイメージ」図のように連携を行うための具体的な行動はどう考えているか。	歴史的資源等の情報の共有を図るとともに、情報発信や歴史まちづくりに取り組む人の交流等を促進していきます。

イ 重点区域に関するご意見（1件）

意見番号	市民意見	市の考え方
3-6	<p>うそ！なぜ「大高」の街が入っていないの、重点区域に追加設定してほしい。</p> <p>熱田神宮の摂社である氷上姉子神社は 緑区大高地区の大事な氏神様で「おひかみさん」と呼ばれている。祭礼には尾張南部に残る大人形の「猩々」が登場する。名古屋市南区、緑区鳴海&有松、東海市名和、長草、豊明などに広まって現存する「猩々」。民俗学の面から大変貴重である。</p> <p>守山区の志段味地区にある「白鳥塚古墳」が考古学的に尾張氏の原風景らしいと言われているが、氷上姉子神社の元宮や斎山古墳の存在は古代の尾張を語る上で貴重である。</p> <p>毎年2月に神の井さんと山盛さんでは酒蔵開放が催され多くの人でにぎわう。江戸時代、大高では酒づくりが盛んで江戸へも出荷されていたらしい。名古屋市内に酒蔵が現存するだけでも珍しいのに、3軒、現在も操業している。風情ある建屋を見るだけでも楽しい。</p> <p>私は土地の人間ではないが、職場の先輩が大高の人で、お盆の時の料理作りが大変だとこぼしていた。古くからのしきたりがあるらしい。猩々も教えてもらった。葬式が終わると玄関先でバンバンと箆をたたく、という風習も聞いた。私は民俗学者ではないが、この街を調査したらかなり面白いのではと思う。東区の白壁とも違う、四間道とも異なる、熱田の魚屋とも異なる、また有松とも一味違った名古屋が生き続けていると感じる。</p>	<p>大高は、熱田神宮の摂社である氷上姉子神社、登録文化財に登録されている醸造所、国指定の史跡である大高城など、多くの歴史的資源が残る地域であると、認識しており、計画では、2章の「熱田神宮ゆかりの古墳・神社に見られる伝統行事」(P94)において、氷上姉子神社にまつわる歴史的風致を掲載しています。</p> <p>重点区域の設定には、国指定の重要文化財等に関する歴史的風致が取り上げられている必要があります。大高の場合、「大高城跡」は国指定の史跡ですが、大高城にまつわる人々の営み（防衛機能や城主の生活など）は、既に途絶えてしまっていますので、「名古屋市の維持向上すべき歴史的風致」として取り上げることができませんでした。そのため、重点区域の要件を満していないことになります。</p> <p>2章の「熱田神宮ゆかりの古墳・神社に見られる伝統行事」(P94)に、氷上姉子神社の例大祭に「猩々」が出されていることを追記します。</p>

④歴史的風致の維持及び向上に関する事業・取組みについて（20件）

ア 歴史的風致の情報発信に関するご意見（5件）

意見番号	市民意見	市の考え方
4-1	<p>世界で日本の文化への関心が高まっていると聞いている中で、名古屋の歴史や伝統について、もっと内外にPRが必要だと考える。</p>	<p>歴史まちづくりを進めていくためには、「歴史的風致」をはじめとした名古屋市内に残る歴史的資源を、多くの市民</p>

4-2	名古屋は、戦争で多くの歴史的なものが失われているので、案内板やホームページなどでもっとわかりやすく表示して、その存在を知ってもらえると良いと思う。	に知ってもらうとともに、その魅力を発信していくことが重要であると考えており、3章の「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」(P188)で、歴史的風致や歴史まちづくりに関する情報発信・提供を行うこととしています。
4-3	尾張名所図会は歴史的価値も高く、市民が尾張の歴史に興味と関心を持ってもらうための貴重なツールで、その挿絵を使った看板設置はビジュアル的で効果も高い。また今後、街歩き、歴史散策に絡めて活用することも可能である。 計画案では「事業位置」が熱田界限に限定されているが、尾張全体について記されたものであるので、熱田界限に限定すべきではないと考える。	「尾張名所図会」やスマートフォンを利用した情報発信について追記します。
4-4	名古屋は徳川さんに遠慮してか、織田信長関連の史蹟があまりクローズアップされていない。桶狭間の合戦なくして信長は語れないが、ゆかりの砦跡が大高に守られている。その砦にふさわしい看板や案内をし、散策路の道標ももっと大きくしてほしい。スマホを使って解説も聞けたら嬉しい。 また、途中、歩道のない道も多いので是非とも整備してほしい。鳴海八幡宮から砦までを一通の散策路にしてほしい。	
4-5	草の根の活動を育成、支援をする方策を重視したい。地域の中に活動を支える人材や担い手を育て、横のつながりとなる組織やネットワークを拡げるのが施策の目標であり成果であろう。そのために、エリアごとに歴まちびとを配して、まちづくり組織や既住の住民組織とともに活動を「みえる化」、市民に地域資源の魅力や歴史的風致の価値に触れる機会を提供したい。	歴史まちづくりには、地域で主体的にまちづくりに取り組んでいらっしゃる方との連携が不可欠と考えます。歴まちびとの効果的な連携についても今後の課題として検討していきます。

イ 歴史的建造物の活用に関するご意見 (3件)

意見番号	市民意見	市の考え方
4-6	平和公園を「名古屋の歴史と文化の里」としてこの計画の中に位置付け、整備すること。 1. 現在急速に失われつつある名古屋の歴史上・文化上の著名人の墓や碑をなくなる場合には、一ヶ所に集めて「名古屋歴史名家園」をつ	平和公園については、2章の「戦災復興に見られる歴史的風致」(P163)に記述しています。平和公園の活用については墓苑としての性格とあわせて検討していく必要があると考えます。

	<p>くる。</p> <p>2. それぞれの寺域にある墓（著名人の）とあわせて、案内板とコースを整備する。</p> <p>3. 旧城下の古建築のいくつかをここに移築する。</p>	<p>なお、平和公園に残る著名人の墓碑については、千種区史跡散策路「平和公園文化人墓碑めぐり」においても紹介しております。</p>
4-7	<p>市や企業の協力で、東照宮、中村公園記念館、屋根神、横井庄一記念館、稲本の修復・保存、ランの館の有効活用を進めたい。</p>	<p>歴史的建造物の有効活用については、所有者の意向を踏まえて、登録・認定制度や歴まちびとの派遣を通じてサポートしていきます。</p>
4-8	<p>市民所有の住居等については、エリア担当者が評価を与え、価値を地域で共有すること。共有財産として保存活用を円滑にするために法制面や税制面で優遇処置、所有と使用の分離や空き家バンクを用いたマッチング、リノベーションの斡旋など、方法と仕組みを定める必要もある。</p>	<p>地域の皆さんや（公財）名古屋まちづくり公社などと連携して、歴史的建造物の保存・活用を進めていく仕組みを、引き続き検討していきます。</p>

ウ 伝統芸能・伝統産業に関するご意見（2件）

意見番号	市民意見	市の考え方
4-9	<p>伝統芸能「尾張万歳」を盛り込んだ「まちづくり戦略」を追加すべきだ。</p> <p>（1）尾張万歳は、一説には名古屋市東区（長母寺）で鎌倉時代の発祥とされている（能・歌舞伎以上の伝統がある可能性がある）。（2）知多市等を経由して関西で変化し、現在の「漫才」となった原型である。（3）名古屋市内では数十年間単独で演じられる団体がなかったが、名古屋開府400年を機に知多市（保存会等）から独立、名古屋市民のみによる「今枝社中」を創設（毎年、名古屋城・徳川園・東区文化の道・有松町並み保存地区の他、熱田祭・犬山城・京都祇園など20～30公演／年を実施）。</p>	<p>3章の「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」（P189）に、伝統行事や伝統産業とあわせて、「伝統芸能」を追記します。</p>
4-10	<p>伝統産業については助成にとどまらず、若年無業者をマッチングする雇用の仕組みと、事業ノウハウや経営スキルの養成など部局をまたいだ事業展開が求められる。</p>	<p>伝統産業における技術の継承や活性化を図るため、若手技術者の育成や魅力ある新商品の開発、伝統産業製品のPRのためのイベント出展・パンフレット等の作成に関し、支援を行っています。</p> <p>引き続き、次世代への継承など、伝統産業の振興を図ってまいります。</p>

エ 中村区の歴史的資源の活用に関するご意見（10件）

意見 番号	市民意見	市の考え方
4-11	<p>昨今、広く関心が高まっている「戦国武将」は、名前の残る 3000 名のうち約 2500 名、実に七割が愛知の出身である。</p> <p>中村区の中村公園は豊臣秀吉公の生誕地であるが、豊臣家の史跡らしい史跡は残っておらず、歴史的な価値のアピールに弱い部分がある。</p> <p>この地に、戦国武将たちの研究施設を作り戦国時代を中心とした歴史研究の要所となれば観光的にも学術的にも意義のあるものになるのではないか。</p>	<p>中村は、豊臣秀吉や加藤清正の出身地であり、その象徴的な場所が中村公園であると認識しております。中村公園については、2 章の「近代都市としての発展過程に見られる歴史的風致」(P150) に、鶴舞公園・東山公園とともに、名古屋の歴史ある公園の代表格として取り上げております。</p> <p>この度、多くの皆さまから、武将のふるさとである中村への思いをお寄せいただきました。歴史的風致維持向上計画には、中村が天下人秀吉や加藤清正の出身地として広く知られており、そのことに地元の人々が、誇りを持っていることを追記します。</p>
4-12	<p>名古屋（尾張）は戦国武将のふるさとの地域である。中村（中村公園）から中川（荒子）のエリアを「戦国武将のみち」として位置付け、今後の名古屋の歴史的な位置付けの柱とすることを提案する。</p>	
4-13	<p>中村の弥助屋敷に立て札を立ててほしい。豊臣秀吉の出身地を、中村からしっかり発信したい。※弥助屋敷：秀吉の出生地との伝承がある。</p>	
4-14	<p>中村の神社、仏閣、歴史のガイドボランティアを 6 年間している。中村公園の豊国神社の第 2 鳥居のそばに小さな小屋を作り土・日曜日のみ訪れ、希望者のみ中村公園、秀吉武将がらみのガイドがしたい。</p>	
4-15	<p>メーグルバスを中村公園（豊国神社、大正天皇御手植松）、妙行寺、常泉寺、秀吉清正記念館、凌雲寺、アクテノン、七所社へ運行してほしい。</p>	
4-16	<p>中村には歴史ある公園、沢山の神社等があるにもかかわらず、あまり知られていないように感じる。</p>	
4-17	<p>七所社の「きねこさ祭り」は鎌倉時代より続く、伝統行事であり、もっと広く PR したい。</p>	
4-18	<p>中村公園は明治 34 年（1901 年）に愛知県営公園として、名古屋市内の公園では 2 番目に古い歴史があるが、100 年を経過した公園とは思えない。</p> <p>名古屋まつりの「郷土英傑行列」の 3 英傑のうち、豊臣秀吉は中村が生んだ歴史上もっとも出世した戦国大名で、同じく中村出身の加藤清</p>	

	<p>正も郷土が生んだ誇るべき人物である。しかし、清正公没後 350 年を記念して造られた中村公園内の記念館はその後改修されることもなく現在に至っており、市民の方も存在さえ忘れかけようとしている。</p> <p>競輪場はもうそろそろ取り壊して公園の整備を行い、魅力ある歴史と文化の公園として、区民・市民の憩いの場とすべきだ。</p>	
4-19	<p>中村公園に自転車の駐輪場を作り、公園内へは乗り入れできないようにして、安心して散策ができるようにしてほしい。手すり付近に、自転車が置いてあるので、“目の不自由な方が安心して歩ける”には、ほど遠い存在になっている。</p>	<p>公園が、緑とのふれあいの場として、またレクリエーションやコミュニケーションの場として、誰もが安全で楽しく利用できるよう、適正管理に努めてまいります。</p>
4-20	<p>中村公園は、以前にくらべれば池の水がきれいになったり、ひょうたんが育てられていたり、ふじの花もきれいに咲くようになった。いっそう美しくしてほしい。“かおりの園”があっても、キンモクセイのかおりすらしない。</p>	

⑤その他（1件）

意見番号	市民意見	市の考え方
5-1	<p>全国的にゴミの分別回収が進む中、名古屋は先がけて取り組んだ（エコナゴヤ）実績がある。休耕地などを利用して、生ゴミリサイクルを進めたい。</p> <p>将来の日本を担うひとづくり、勉強・養成講座受講の場、中高年の生きがい、居場所、学びの場づくりとすべきだ。</p>	<p>環境の取り組みと同じく、歴史まちづくりも市民の皆さまのご協力なくしては推進できないものと考えております。その中で、ひとづくり、生きがいづくりにも貢献できるものと考えております。</p>

名古屋市住宅都市局都市計画部歴史まちづくり推進室
〒468-8508 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 1 号
電話 052-972-2782 FAX 052-972-4485
電子メール a2782@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp